

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	飯田市体育協会運営支援事業(旧事業名:飯田市体育協会共催事業)	会計	一般会計	事業No.	732	施策順No.	26-006
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-6-1-11-7		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	26 スポーツの振興			事業期間	開始	8	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民と(財)飯田市体育協会					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない						
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市民:人						107938	106630	105691	105036	107000	
		体育協会加入者数:人						4532	5665	4061	4150	5000	
意図	市民向け事業や体育協会員向け事業を実施し市民スポーツを振興する。各種競技会の開催により、競技力の向上を図る。												
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	市民向けの事業への参加者数:人					83395	88487	112238	58000	132030	58000	A	
	体育協会加入者を対象とした事業数:件					508	467	572	200	594	200		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	飯田市体育協会が、飯田市との連携事業や自主事業を積極的に行い、それらの事業の運営支援を行った。目標を大きく上回る事業数、参加者数により目標を達成した。												

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田市体育協会は、前身は昭和5年4月飯田市体育連盟として設立したが、昭和22年4月飯田市大火により組織が崩壊した。その後組織の確固とした体育協会を設立しようとの気運が高まり、昭和24年4月新たに飯田市体育協会として設立した。平成8年には自立運営を目指して財団法人となり現在に至る。</li> <li>財団法人化している体育協会は、各競技団体を傘下におき、市民の健康・体力向上及び豊かな体育文化の振興を目的とした事業展開をしているほか、各競技会等を開催し競技力向上も目指している。また、市のスポーツ振興の一翼を担い市のスポーツ事業にも協力している。</li> <li>飯田市体育協会の運営支援実施することにより、体育協会加入者の増加と市民向け事業参加者を増やし、市のスポーツレベルの向上を図る。</li> <li>中央道沿線都市親善スポーツ大会を開催し、競技人口の拡大と交流を図る。</li> <li>飯田市教育委員会と飯田市体育協会が連携した取組みを行なうことにより、生涯スポーツを推進していく。</li> </ul>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 市民の体力向上・健康維持及び競技力向上のため、(財)飯田市体育協会へ事業負担金の交付。 2 中央道沿線都市親善大会等のスポーツ大会の開催・スポーツ教室の開催。	1 市民向け事業の参加者数:人 2 事業の数:件	1 58,000人 2 200件
23年度実施計画	1 市民の体力向上・健康維持及び競技力向上のため、(財)飯田市体育協会の運営支援。 2 中央道沿線都市親善スポーツ大会の開催。 3 その他スポーツ教室の開催。	1 市民向け事業の参加者数:人 2 スポーツ大会数 3 事業の数:件	1 58,000人 2 10大会 3 200件

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源	7,500	7,500	7,700	
		計(A)	7,500	7,500	7,700	
		正規職員所要時間				
		臨時職員等所要時間				
		人件費計(B)		0		
		トータルコスト A+B		7,500		

4 事業に対する市民や議会の意見

市民から「体育協会は中央道沿線都市大会等の各種スポーツ大会やスポーツ少年団活動等事業を幅広く実施している。」という声がある。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①いつでも誰でもどこでもスポーツに親しむ。 ②競技力が向上する	施策の成果指標又はムトス指標	全国大会レベルの大会に出場した市民の数:人
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	飯田市体育協会との共催事業の企画実施や、活動支援を通じて、競技スポーツの振興を行ってきた。		
	後期に向けた課題	競技力向上のみならず市民スポーツの振興にも大きな役割を果たしている飯田市体育協会の自立的な活動を引き続き支援する。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	スポーツ教室の開催など、事業の充実を図ってきた。		
	後期に向けた課題	事業活動の内容充実や、会員数の増加をさらに進める必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	現在の体育協会の財政状況から考えると、コスト削減は厳しい。		
	後期に向けた課題	同上		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	飯田市体育協会の活動は、市民レベルから競技力レベルまで幅広く行われており、健康増進や競技力向上等、市民のスポーツ振興に役立っており、市も適切に関与している。		
	後期に向けた課題	同上		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	飯田市体育協会は、飯田やまびこマーチ、風越登山マラソン大会、信州飯田60歳以上ソフトボール大会など主要な協力団体としての役割を担っている。		
	後期に向けた課題	競技力の向上と市民スポーツの振興に大きな役割を果たしている体育協会の活動を、さらに支援をしていく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	市民向け事業等、市民スポーツについての支援を実施してきた。事業等を自主運営していく組織体制になってきている。		
	後期に向けた課題	公益法人への移行支援と、組織が自主運営していくための支援。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--